

「ようきてちょーた」=瀬戸弁で「よく来てくれたねえ」の意味。

ようきてちょーた瀬戸!

編集:瀬戸市おもてなしボランティア
季刊誌作成チーム
発行:瀬戸市 まるっとミュージアム課

No.17 2010. 9. 01.

第79回

せともの祭 特集!

平成22年

9月11日(土)・12日(日)



わたしたちが
お待ちしています

ミスせともの のみなさん



せともの人形展示「龍馬とお龍」



せともの祭って?

毎年9月の第2土・日曜日に行われる、瀬戸最大のお祭り「せともの祭」は、磁祖・加藤民吉を祀る窯神社の祭礼です。昭和7年9月16日から、産業祭(第1回せともの祭)となりました。廉売市は、窯焼きさんが問屋に納めた見本品を売ったところ、安くて質が良かったことから評判になって、現在のような廉売市として盛大になり発展してきました。

今では、瀬戸川沿いの200店を超える「せともの廉売市」を中心に、陶芸作家の展示即売、伝統工芸品の展示会・小中校生の子ども陶芸展・「食と器」をテーマに麺食と器の提案・その他体験参加型のイベント・花火大会・ミスせとものパレード等、催し物いっぱい、瀬戸近郊はもとより県内外から多くのお客様でにぎわいます。

せともの祭を100%楽しむ・攻略法をお教えします

●買い物のコツ

せともの祭での買い物のコツは、良い物・掘り出し物入手するなら土曜日の午前中（早いもの勝ち）。とにかく安く買いたい人は、日曜日の午後から閉店間際（物を選んでいない暇はない。店の在庫処分との駆け引き）などと言われています。

しかし、「いいな！」と思う物があつたら迷わず買うこと。他の店を見て後でと後悔していたら売り切れてしまう。又、人ごみの中を振り返すのも大仕事。値段の交渉もやってみる。これもお祭りの店巡りの楽しみです。



●お天気対策

9月になったとは言え、まだまだ残暑が厳しい季節です。好みの物・掘出し物を求めて、大勢の中で歩き回ることになりますので、熱中症にはくれぐれもお気をつけください。飲み物は必携です。

また、この時期天候が変わりやすいので、にわか雨への準備もしてください。

●瀬戸のお土産何にしよう？

瀬戸の土産って、何があるの？ そんな疑問にお答えするのが、期間中「瀬戸蔵」の1階に設置される、瀬戸のみやげ推奨品の展示即売コーナーです。

ぜひご覧ください。

★★大廉売市のほかにも注目！？★★

●陶芸作家による創作作品のある瀬戸蔵

せともの祭の2日間、瀬戸蔵2階～4階では、「瀬戸陶芸協会」・「瀬戸クラフト協会」・「瀬戸伝統陶芸会」・「瀬戸陶磁器青年研修会(SAMS)」などで活躍する陶芸作家の新作が集まり、大廉売市とは違った趣があります。

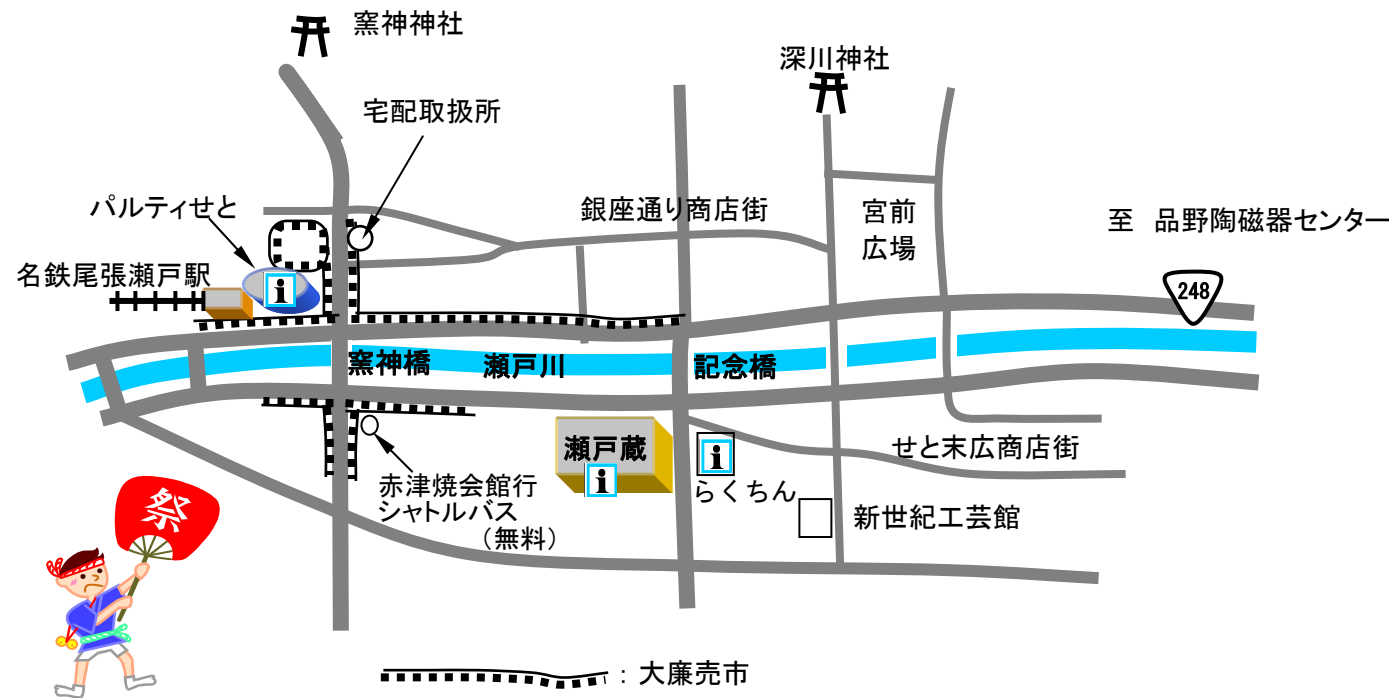
特に、「瀬戸クラフト協会」では、【のむ】をテーマにした特別展示販売も行なわれます。

こうした新作は、日常使いの食器から、置物・茶道具まで、バラエティに富んでおり、すべて購入することができます。

ぜひ、この機会に瀬戸蔵にも足を運んでください。

●重い荷物の持ち運び

買い込んだ、重い食器類を持ち運ぶのは大変です。駐車場から距離があるためカスター付きバッグ・背負いのバッグがお勧めです。しかし、人ごみの中ではそれもなかなかままなりません。最近は宅配の活用も増えています。宅配取扱所は、パーティセとの広場の道を挟んだ反対側にあります。これなら身軽に祭りを楽しめますし、途中の破損を気にする必要もありませんね。



●無料休憩所はどこにあるかな？

暑い、買い物いっぱい、疲れた・・・何処かでちょっと一服したい、そんな時にはこちらへどうぞ。

- ☆パーティセと 1階、3階交流広場など
- ☆瀬戸蔵 1階、4階多目的ホール(12日のみ)
- ☆宮前公園 ベンチ(動物の檻の近く)
- ☆せと末広商店街 木製のベンチや椅子が所々に置いてあります。



●トイレ情報

トイレはここが利用できますよ。

＝大廉売市の近くでは

- ☆パーティセと 各階 ☆瀬戸蔵 各階
 - ☆新世紀工芸館 1階
 - ☆尾張瀬戸駅構内 ☆瀬戸案内処 らくちん
 - ☆宮前広場 公衆トイレ
- ＝ちょっと離れますが・・・
- ☆瀬戸市役所 ☆瀬戸市文化センター

●案内所



祭の催事スケジュールの情報は、パーティセと・瀬戸蔵・瀬戸案内処らくちんでもらえます。

もし、迷子になったら、あるいは気分が悪くなったら、パーティセと南側にある「総合案内所」に相談してください。お店の詳細情報なども教えてもらえます。

●品野陶磁器センターのせともの祭

品野陶磁器センターに、来年3月「道の駅瀬戸しなの」がオープンしますが、これを記念して「品野窯元大廉売市」が同時開催されます。陶磁器の大廉売市はもとより、陶芸、ガラスの体験もできます。

11日(土)午前中には、子どもロクロ大会や地元の中高生による和太鼓演奏会などもあります。

品野陶磁器センターへは車でのおでかけが便利です。無料大駐車場(1,000台)



●赤津焼まつり

国の伝統的工芸品に指定されている赤津焼の製品の大廉売市、陶芸作家や伝統工芸士の作品展などが、赤津焼会館と会館前広場で行なわれます。

また、福引きや、抹茶席、伝統工芸士によるロクロ体験などもあります。

せともの祭の2日間は、市街地から赤津焼会館までの無料シャトルバスがあります(1時間に1本)。シャトルバスご利用の方には、ジュースか、みたらし団子のプレゼントもあります。

赤津焼会館は無料駐車場(100台)



●花火大会 (雨天順延)

今年もせともの祭初日、11日(土)の夜に花火大会が行なわれます。花火は、文化センター近くの権現山から打ち上げられます。ビューポイントは窯神橋付近や、パーティセと、文化センターなどがおすすめです。

●ミスせとものと、瀬戸スカウト協議会 鼓笛隊パレード (雨天順延)



ミスせとものが鼓笛隊とともにパレードを行ないます。
日 時：11日(土)午後2時20分～3時20分
コース：往路 陶生町→末広町→瀬戸蔵→パーティセと
復路 パルティセと→瀬戸蔵

瀬戸を陶磁器のまちとして再生した「加藤民吉」の足跡

1600年の初頭の頃、九州の有田で、陶器より薄く丈夫な磁器が盛んに生産されるようになりました。磁器の人気の高まりとともに、瀬戸焼の需要が以前ほどでなくなり、瀬戸や尾張藩にとって、新しい瀬戸焼が求められました。そんな中、尾張藩熱田奉行の津金文左衛門は民吉らに、磁器の作り方を研究させ作らせることにしました。そして試作を重ね磁器を完成させましたが、有田焼とは何かが違う、と言うことで民吉が九州へ技法を学ぶために旅立つことになりました。

佐々町との交流

瀬戸市と長崎県佐々町とは、民吉が滞在した縁で現在も交流があります。この証が瀬戸では、窯神社周辺に、佐々町では佐々の皿山公園に残っています。

さんしん ●残心の杉

民吉が福本家での修行を終え、佐々を去る際に記念に杉を植えたと言われています。この杉が長崎県佐々町にある「残心の杉」です。その杉の枝をもらって、東京大学愛知演習林の指導で挿し木をして育て、2007年に民吉九州修業200年を記念し、窯神社境内に植樹されました。

いんすいしげん ●飲水思源碑・陶石の碑

この碑は民吉と、民吉が天草・東向寺でお世話になった、天中和尚をたたえる記念碑を瀬戸から贈ったお礼として、熊本県本渡市(旧天草市を含む)から1963年に瀬戸へ贈られたものです。

石は磁器の原料である天草陶石で、碑文は「飲水思源」となっています。

意味は「水を飲む時はその水源を思い、感謝せよ」です。



飲水思源碑 窯神社境内

1804年(文化元年・江戸時代)、民吉は瀬戸出身の天中和尚(てんちゆう)を頼って天草の東向寺(とうこうじ)へ向かいました。和尚などの世話で各地の窯場で働きながら学びましたが、満足するような技術はなかなか得られませんでした。その後、長崎県の佐々へ行き、福本仁左衛門の窯場で働くことになり大いに技術を学びました。

1807年、瀬戸に帰った民吉は更に研究を重ね、瀬戸での磁器の生産が本格化することに貢献し、「磁祖」として後世に名を残しました。



磁祖 加藤民吉翁



長崎県
佐々町

瀬戸市



残心の杉 窯神社境内



残心の杉 佐々町皿山公園

●柞(いす)の木

パルティセとから、窯神社に向かって歩いていくと、登り坂の手前に、「民吉出生の地」の碑があります。傍らに「柞の木」が植えられています。

また、窯神社の境内にも何か「柞の木」があります。

この木の皮を燃やした灰、「柞灰」は、染付磁器の釉薬として使用され、民吉が佐々から持ち帰ったものの1つと言われています。



*この季刊誌「ようきてちよーた瀬戸!」は、瀬戸市おもてなしボランティアの季刊誌チームメンバーが、ボランティアの目線で瀬戸の観光情報取材し、作成しています。ぜひ、誌面に対するご意見・ご感想を事務局までお聞かせください
《瀬戸市おもてなしボランティア事務局》

瀬戸市役所 まるっとミュージアム課 〒489-0813 瀬戸市蔵所町1番地の1
TEL: 0561-88-2541 FAX: 0561-97-1557 E-mail: marutto@city.seto.lg.jp

